

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 経営者には根源的な哲学が必要 稲盛 和夫 (京セラ創業者・名誉会長)

1. 本来、経営というものは辛酸をなめて、苦勞して、一生懸命やって初めて、うまくいくというものではないです。会社の業績は、経営トップだけではなく、社員全員が苦勞をし、辛酸をなめた結果、良くなるものです。ところが、全体的に景気が良くなり、自分の会社も何となくうまくいっているという状態は、実は非常に危険です。
2. 他動的な力で経営がうまくいってしまうのは、非常に危ないですね。自分たちがどう努力をしてきて、現在のいい経営状態を作り上げてきたのかという、根源的な哲学のようなものを持っていないといけません。何となく経営しているだけでは、すぐに会社はおかしくなってしまう。
3. 最近では、会社経営も含めて、自分の人生について、どうあるべきという根源的な問いをあまりしないでしょ。それが大きな問題ですね、やはりトップとして社員をリードしていくには、社員が「なるほど、うちのトップが言うのはもっともだ」と思えるような話をして、それを自らの行動で示していかなければなりません。
4. それは、その人の人生観や人格の問題ですよ。そういうものに社員たちが触れて納得してついてきてくれるような状況が、経営には必要です。逆に言えば、そういう哲学を持っていない方がトップに立った場合に問題が起きるでしょう。

(参考:「日経ビジネス」2018年1月8日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 中小企業・地域産業の役割

#### 関 満博 (明星大学経済学部教授)

1. 今、創業でいちばん目につくのは女性が手がけるカフェ。数百万円つぎ込む。ただこれも開業から短期で消えていくか、「居抜き」で誰か代わりの人が入る形が多い。創業が旺盛といえるのは介護福祉のみだ。ケアマネージャーや訪問介護の人が常駐して、住宅街のガレージを改修して事務所が作られる。この業種は増えているが、儲かる商売ではない。介護保険制度の中でやっているのだから、事業ともいえない。ほとんどボランティアみたいなものだ。事業所は減り、新規創業は芳しくない。その面でも一つの時代が終わりつつある感じがする。
2. 中小企業・地域産業には「外から所得をもたらす機能」「人々に就労の場を提供する機能」「人々の暮らしを支える機能」の三つが求められる。

(参考:「週刊東洋経済」:2018年2月3日号)

## 経営者のための危機管理

### 士業の生き残る道

1. IT化による業務変革の波は、税理士など士業にも押し寄せている。2015年に野村総合研究所と英オックスフォード大学が実施した共同研究において「税理士」92.5%。「弁理士」は92.1%の確率で人工知能(AI)やロボットに代替させるとの結果が出た。今後、税理士に求められるのは(1)いざというときに助けてくれるという意味で「安心感」は人でしか与えられないもの。今後の士業には、機械の出した専門的な数字を顧客に理解させるコミュニケーション力がより必要になる。
2. (2)クラウドなどのIT技術によって士業の知識や手続き自体には価値がなくなりつつある。今後選ばれるのは、安くて便利で気軽に利用できるサービスを提供し、顧客をより前へと導く士業だろう。

(参考:「Wedge」2018年3月号)

## 古典に学ぶ

### 成功者がとる行動

(解説) 人の調子に乗るはよくないということである。「名を成すは常に窮苦の日にあり、事を敗るは多く得意の時に因す」と古人も言っておるがこの言葉は真理である。困難に処する時はちょうど大事に当たると同一の覚悟をもってこれに臨むから、名を成すはそういう場合に多い。世に成功者と目せらるる人には必ず「あの国難をよくやり遂げた」「あの苦痛をよくやり抜いた」というようなことがある。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)